

GEO-DB プロジェクトと統合地質図データベース (GeoMapDB)

GEO-DB Project and Integrated Geological Map Database (GeoMapDB)

宝田 晋治 [1]

Shinji Takarada[1]

[1] 産総研地調

[1] GSJ, AIST

<http://iggis1.muse.aist.go.jp/>

産総研地質調査総合センターでは、各種の地質情報を整備し統合化する GEO-DB (総合地質情報 DB) プロジェクトを推進している。現在、地質調査総合センターには研究情報公開データベース (RIO-DB)、各種出版物を始め、多種多様な地質情報、観測データ、調査データ等がある。GEO-DB では、これらの様々な地質情報を共有化したより有機的に連携したシステムを構築することにより、社会への成果還元、各プロジェクトの推進、研究の効率的な遂行を行うことを目的としている。

GEO-DB プロジェクトの公開システムの一つに各種地質図類の Web 公開を目的とした統合地質図データベース (GeoMapDB) がある。GeoMapDB は 2006 年 9 月より試験公開を始め、2008 年 1 月より正式公開されている。GeoMapDB では、200 万分の 1 アジア地域地質図、100 万分の 1 日本地質図第 3 版、20 万分の 1 地質図幅、20 万分の 1 日本シームレス地質図、5 万分の 1 地質図幅、2.5 万分の 1 環境地質図、火山地質図、海底地質図等の地質図を WebGIS 技術によって閲覧検索できる仕組みを提供している。GeoMapDB では、表示した各地の火山から、第四紀火山 DB、活火山 DB、火山衛星画像 DB、火山ハザードマップ DB の各ページを検索表示する機能も備えている。地質図の VRML による 3 次元表示も可能である。また、閲覧中の地質図の画像を Geotif や KML 形式でダウンロードするとともに、100 万分の 1 地質図、20 万分の 1 シームレス地質図を Shape, Eps, Geotif, KML 形式でダウンロードする機能も備えているため、地質図や火山関連の各種のプロジェクト、プレゼン等に利用できる。印刷物や CD-ROM 形式で公開してきた地質図類をインターネット上で利用できるようになり、これまでよりもより多くの方々に地質図を利用していただけることを期待している。

200 万分の 1 アジア地質図、100 万分の 1 日本地質図第 3 版、20 万分の 1 日本シームレス地質図については、産総研グリッド研究センターと協力し、GEO Grid プロジェクトにより、WMS(Web Mapping Service) 配信を行っている。また、国際惑星地球年の活動の目玉の一つとして、世界中の 100 万分の 1 地質図を Web ポータルサイトで配信する OneGeology プロジェクト (<http://www.onegeology.org/>) に、世界中の 70 以上の地質調査機関と協力し取り組んでいる。